

科目名 Course Name		開講年次	開講学期	曜日・時限
プログラミング言語Ⅱ Programming Language II		1年	後期	別途、時間割参照
単位数	授業の形態	授業の性格		履修上の制限
2単位	講義	選択	(上級情報処理士必修)	プログラミング言語Ⅰを必ず履修しておくこと。
当該科目の理解を促すために受講しておくことが望まれる科目				
なし				
同時に履修しておくことが望まれる科目				
なし				
担当者に関する情報				
氏名	研究室の場所	オフィスアワー		電話番号・メールアドレス
小林大輔	講義棟1F	火曜～金曜 (授業、会議時間以外)		授業中に指示します
授業の概要				
プログラミング言語Ⅰで学んだJavaを用いて、様々な機能を使用したプログラムを作成し、Android端末で実行する。				
授業の目標				
①Androidアプリの開発環境を利用することができるようにする。 ②アクティビティ、インテント等、Androidの機能を利用することができるようにする。 ③アプリを作成し、エミュレータで実行することができるようにする				
授業の方法				
講義を中心とし、理解を助けるための演習、課題を適宜用いる。				
学習の成果(学習成果)				
授業の目標①～③を達成すると、Androidアプリを作成しエミュレータおよび端末で動作させることができる。				
授業のスケジュールと内容				
第1回目	ガイダンス Androidの概要			
第2回目	プログラミングの基礎知識			
第3回目	エミュレータ、実機での実行方法			
第4回目	配列1			
第5回目	配列2			
第6回目	メソッド1			

第7回目	メソッド2	
第8回目	メソッド3	
第9回目	クラス1	
第10回目	クラス2	
第11回目	クラス3	
第12回目	Androidサンプルアプリの実行	
第13回目	Androidサンプルアプリの作成1	
第14回目	Androidサンプルアプリの作成2	
第15回目	Androidアプリの作成 まとめ	
成績評価の方法と基準		
評価の領域	割合	評価の基準
授業参加態度		加点はしないが、受講態度が著しく悪い場合は減点し、場合によっては退室してもらう。
レポート	100%	課題のプログラムが動作するかで判断し、採点基準は「正常に動作する(100~80)、若干の修正によって動作する(79~70)、大幅な修正が必要(69~60)、未完成(60点未満)」である。
調査報告書		
小テスト		
試験		
発表内容(態度含む)		
その他		無断欠席は1回につき5点減点する。理由のない遅刻2回で1回の無断欠席として減点する
教科書と参考図書		
教科書は使用せず、必要に応じてプリントを配布する。 参考書:「明解Java 入門編」(柴田望洋)、「Androidプログラミングレシピ」(D. Smith, J. Friesen 著 吉田邦夫 訳)、「作ればわかる! Androidプログラミング」(金宏和實)		
履修上の留意点・ルール		
演習中の私語や、演習以外のPCの利用は慎むこと。		